

- 前回までのワークショップ等でいただいたご意見をもとに、地域の将来的な公共施設の再編方針（案）等を修正しました。また優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針（案）については資料9をもとにご議論いただきます。

1. まちづくり・公共施設全般に関する課題解決の方向性

- まちづくりや公共施設全般に関する課題解決の方向性を整理しました。

視点	まちづくりや公共施設全般に関する課題解決の方向性（案）
①地域性の考慮 ○9地区の成り立ち、地理的に独立している。 ○お祭り等文化活動の伝承が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ● 9つの地区の特色を活かしたきめ細やかなまちづくりと公共施設整備を目指す。 ● お祭りや地域の行事を大切に、保存・活性化する。 ● 山や川で分断されていることに配慮したアクセスを維持し、利便性を向上させる。
②地域資源の活用 ○豊富な地域資源を活かしきれていない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域にある公共施設を地域資源として、再度見直し、一層の活性化に役立てる。（杉風荘・美術保存館・資料館・スポーツ施設など） ● 伝統文化を保存継承する施設を大切に残していく。 ● 公共施設など地域資源を集約させ、集客、回遊性向上、相互利用促進などを狙い、地域の活性化を図る。
③地域コミュニティの維持 ○9地区ごとにコミュニティ活動を支える施設が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ● それぞれの地区の活動拠点を今後も確保する。 ● 地域行事の場を今後も確保する。 ● 必要な避難所を確保する。
④子育て環境の充実 ○少子化が顕著になる。 ○子どもの居場所が減少。	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共施設の整備・活用を通じて地域全体で子育て環境を充実させる。 ● 小中学校の児童生徒数の減少について地域の子育て環境における課題として検討を行う。 ● 学校のグラウンドを市民のスポーツ活動の場として活用する。
⑤安全性の確保 ○適正な避難所配置・災害対策への不安・懸念がある。	<ul style="list-style-type: none"> ● 避難所を地区ごとに必要なだけ確保する。 ● 避難所の耐震性を確保する。 ● 危険が予測される河川やがけ地などの近傍への配置を避けるよう配慮する。 ● 民間施設も含めた避難所配置の可能性を検討する。
⑥機能性・利便性の向上 ○利用・稼働の少ない施設が散在している。	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政サービスを施設単位ではなく機能としてとらえ、サービスの集約化を図り、より利便性を高める。 ● 古くなったり、稼働率の低いスポーツ施設・観光施設を整理し、新しい施設を整備したり、改修により再生することにより集客、利便性向上を目指す。
⑦運営の工夫 ○各公共施設の知名度が低く、稼働率も低い。 ○民間や地域の運営ノウハウが活かされていない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 知名度・稼働率の低い施設について、市内外に積極的にPRを行い、人を呼び込むなど再活性化を図る。 ● 民間活力の導入を促進し、農業体験など新たな付加サービスの創出を図り、他市・他県からの利用を喚起する。 ● 民間の運営ノウハウを取り入れて、魅力的な空間作り、柔軟な開館時間、PRなどのサービス向上を促進させる。 ● 行政の縦割りによる施設配置・運営の支障を減らす。 ● 地域組織による施設運営の機会・範囲を広げ、次世代の担い手を育成する。
⑧将来負担の軽減 ○老朽化の進む施設が一斉に更新時期を迎え、多額の費用がかかる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 老朽化が進む施設・利用率が低い施設は整理統廃合を検討する。 ● 統廃合により節約した資金を、残る施設の機能充実に充てる。

2. 地域の将来的な公共施設の再編方針(案)

全市的な公共施設再編の指針である富山市公共施設等総合管理計画に示された方向性と、前回までのワークショップでいただいたご意見とを勘案し、用途別の再編方針案を再整理しました。

再編方針の見方

	対象施設	△△センター、□□センター
	今後の方向性案	富山市公共施設等総合管理計画に基づいた方向性を記載しています。 合わせて、ワークショップでいただいたご意見を反映させた八尾地域独自の方向性も記載しています（ の箇所です）
具体的取組み	（中長期的取組み）	中長期（5～20年を目途）で取り組んでいく内容について記載しています。 ここに記載された内容について取組みを進めた結果、実際に施設の再編を行う場合には、必要性を鑑みて地域の皆さんのご意見を伺いながら進めていきます。
	（短期的取組み）	短期（5年を目途）で取り組んでいく内容について記載しています。 ここに記載された内容について取組みを進めた結果、実際に施設の再編を行う場合には、必要性を鑑みて地域の皆さんのご意見を伺いながら進めていきます。

（1）集会施設

	対象施設	八尾公民館、保内公民館、杉原公民館、卯花公民館（卯花地区コミュニティセンター）、室牧地区コミュニティセンター、黒瀬谷公民館、野積地区コミュニティセンター、仁歩地区コミュニティセンター、大長谷交流センター、八尾ふらっと館、黒瀬谷交流センター、八尾農村環境改善センター
	今後の方向性案	<ul style="list-style-type: none"> ○ 9地区ごとに公民館または地区コミュニティセンターのいずれかを存続させる。それ以上にある集会施設については、集約化を進める。（ご意見、市の方向性） ○ 中山間地域など人口減少が著しい地域における公民館等の改築に際しては、空き家等の借上げ方式を検討する。（市の方向性） ○ 利用者の利便性向上に向け、地域で運営することにより、地域コミュニティとより密接な連携が図れると考えられる場合は、地元団体への管理運営委託等、運営体制の見直しを行う。（市の方向性） ○ 存続する施設については、地理特性を考慮し、望ましい形を検討する。（ご意見） ○ 地区ごとに避難所が配置されるよう配慮する。（ご意見）
具体的取組み	（中長期的取組み）	○ 短期での再編の対象外の施設については当面存続するが、改修などの際には、利用状況や地区の状況などを勘案した設備・規模等の見直しを行う。
	（短期的取組み）	（卯花公民館（卯花地区コミュニティセンター）、黒瀬谷公民館、黒瀬谷交流センター、八尾農村環境改善センターについては、優先的に取り組むべき個別具体施設の整備方針の中で検討する。（別紙再配置案を参照））

(2) 文化施設（ホール、その他文化施設）

	対象施設	八尾コミュニティセンター、八尾コミュニティセンター分館・杉風荘
	今後の方向性案	<ul style="list-style-type: none"> ○ 稼働率が低下している施設は、廃止や民間への譲渡を進める。（市の方向性） ○ ホールについては、その将来的な存続や規模のあり方について、地域の中での役割、周辺の類似施設との連携等を進めていく。また複合化・多機能化を検討し、地域活動の拠点として必要となる機能を整備する。（ご意見、市の方向性）
取 組 体 的	（中長期的取組み）	
	（短期的取組み）	（優先的に取り組むべき個別具体施設の整備方針の中で検討する。（別紙再配置案を参照））

(3) 図書館、博物館等

	対象施設	八尾図書館、八尾東町分館、八尾美術保存館、八尾化石資料館
	今後の方向性案	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域図書館・分館については、利用率や地域バランス、学校図書館等との連携を踏まえ、適正配置に向けて廃止や統合を視野に入れた見直しを行う。（市の方向性） ○ 博物館等については、多くの方に見てもらおうようにするために、人の集まる場所への移転を視野に入れ、積極的な PR により利用者増を図っていく。（ご意見、市の方向性）
具 体 的 取 組 み	（中長期的取組み）	○ 今後も存続する施設については、効率的な運営や適切な維持管理を図る。
	（短期的取組み）	○ 施設の収藏品等について、他施設での展示など、そのあり方を検討する。（八尾図書館、八尾東町分館、八尾化石資料館、八尾美術保存館については、優先的に取り組むべき個別具体施設の整備方針の中で検討する。（別紙再配置案を参照））

(4) スポーツ施設（体育館、プール、その他スポーツ施設）

	対象施設	八尾スポーツアリーナ、八尾 B&G 海洋センタープール、スポーツ・カヌーセンター、八尾ゆめの森テニスコート、八尾パインパーク、八尾サンパーク
	今後の方向性案	<ul style="list-style-type: none"> ○ いくつかの地区コミュニティセンター等にも体育館を備えていることを踏まえて、将来にわたって改善が見込まれないことが判断できる施設については、廃止・統合を行う。（市の方向性） ○ 利用率が低い施設は運営方法の改善を行う。（市の方向性、ご意見）
具 体 的 取 組 み	（中長期的取組み）	○ 機能の重複する施設、稼働率の低い施設については、廃止や集約化などを検討する。
	（短期的取組み）	○ 夜間使用の中止など、運営方法の改善を行う。

(5) レクリエーション・観光施設

	対象施設	おわら演舞場、おわら資料館、曳山展示館、ほたるの里農村公園、県立自然公園、神通川水辺プラザ、白木峰山麓交流施設、八尾ゆめの森（ゆうゆう館一帯）
	今後の方向性案	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多くの方に利用してもらうために、積極的な PR や他の施設との機能連携による利用者増を図っていく。（市の方向性） ○ 宿泊・入浴施設については、民間への事業移管を進め、困難なものは廃止する。（市の方向性） ○ 観光施設については、観光客が利用しやすいように、相互利用の促進、連携強化などにより各観光施設の連携を図る。（ご意見）
具体的取組み	（中長期的取組み）	○ 利用率の低い施設については、大規模改修が必要となった場合には、地元や民間への譲渡、または廃止する。
	（短期的取組み）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県立自然公園、白木峰山麓交流施設については、白木峰山麓体験農園との一体的な運営など、さらなる利用促進を図るため、民間企業による運営や地元団体への譲渡などを検討する。 ○ 各観光施設との連携強化、積極的な PR や他の施設との機能連携による利用者増を図っていく。

(6) 産業系施設（産業振興施設）

	対象施設	白木峰山麓体験農園、林業総合センター
	今後の方向性案	○ 産業振興施設については、民間または地元団体が運営を行い、施設の活用促進のため、譲渡などを検討する。（ご意見、市の方向性）
具体的取組み	（中長期的取組み）	○ 林業総合センターについては、大規模修繕が必要な状態となった場合は廃止する。
	（短期的取組み）	○ 白木峰山麓体験農園については、県立自然公園、白木峰山麓交流施設との一体的な運営など、さらなる利用促進を図るため、民間企業による運営や地元団体への譲渡などを検討する。

(7) 学校（小学校、中学校）

	対象施設	八尾小学校、杉原小学校、保内小学校、檜尾小学校、八尾中学校、杉原中学校
	今後の方向性案	<ul style="list-style-type: none"> ○ 適正な教育環境の確保という観点から、学校統廃合を含め、今後の小中学校のあり方について、地域の意見も踏まえながら継続的に見直しを進める。（市の方向性、ご意見） ○ 老朽化が進む施設について、安全性の確保及び機能維持を行う。将来の人口動態を見据え適正な規模とするために、老朽化が進んだ場合や、児童生徒数が著しく減少した場合は、他用途への転用を行ったり、大規模改修の際に減築を行う。（市の方向性）

具体的取組み	(中長期的取組み)	○ 児童生徒数の推移を見極めながら、今後の小中学校のあり方について見直しを行う。
	(短期的取組み)	○ 適正な教育環境の確保という観点から、児童生徒数の推移を見極めながら、学校統廃合を含め、地域における今後の小中学校のあり方について検討を行う。 ○ 樫尾小学校は、適正な教育環境の確保という観点から、他の小学校との統廃合の検討に着手する。

(8) 幼保・こども園（保育所）

	対象施設	八尾保育所、福島保育所、黒瀬谷保育所
	今後の方向性案	○ 子どもの将来的な人数を想定したうえで、ニーズに対応した施設を着実に確保すると同時に、園児数が少ない保育所については、統廃合を継続的に検討する。(市の方向性) ○ 老朽化が進む施設について、安全性の確保及び機能維持を図る。(市の方向性)
取組体的	(中長期的取組み)	○ 施設の老朽化や園児数の減少が著しい状況となった場合は、統廃合などの見直しを行う。
	(短期的取組み)	

(9) 保健施設

	対象施設	八尾健康福祉総合センター
	今後の方向性案	○ 利用者の利便性向上に向け、周辺施設との再編に併せ、複合化や多機能化を 実行する 。(ご意見、市の方向性)
具体的取組み	(中長期的取組み)	
	(短期的取組み)	(優先的に取り組むべき個別具体施設の整備方針の中で検討する。(別紙再配置案を参照))

(10) 庁舎等、消防施設、その他行政系施設

	対象施設	八尾行政サービスセンター
	今後の方向性案	○ 老朽化が著しいことから、他施設への機能移転を図る。(ご意見、市の方向性)
具体的取組み	(中長期的取組み)	
	(短期的取組み)	(優先的に取り組むべき個別具体施設の整備方針の中で検討する。(別紙再配置案を参照))

3. 優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針(案)

全市的な公共施設再編の指針である富山市公共施設等総合管理計画に示された方向性と、前回までのワークショップでいただいたご意見とを勘案し、優先的に取り組むべき個別具体施設とその整備方針について案を作成しました。

ここに記載の内容については、八尾地域で優先して再編に取り組むものとして、地域別実行計画策定後、短期（5年）での実現を目指して速やかに着手し、再編を進めていきます。

個別具体施設の整備方針の見方

対象施設	△△公民館、□□センター
整備方針	対象施設の再編の内容について記載してあります。
配慮すべきこと	上記の再編を行うにあたり、配慮すべきことなどについて記載します。 内容については、皆さんにワークショップで議論いただき、そのご意見を参考に記載することとします。

(1) 重複機能の集約化

対象施設	黒瀬谷公民館、黒瀬谷交流センター
整備方針	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地区内で集会施設の重複がみられることから、黒瀬谷公民館と黒瀬谷交流センターの集約化を行う。 ○ 施設の状況等から、黒瀬谷公民館を黒瀬谷交流センターに集約化することとする。
配慮すべきこと	

対象施設	卯花公民館（卯花地区コミュニティセンター）、八尾農村環境改善センター
整備方針	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地区内で集会施設の重複がみられることから、卯花公民館と八尾農村環境改善センターの集約化を行う。 ○ 集約化の内容については、別紙再配置案を基に検討する。
配慮すべきこと	

対象施設	八尾図書館、八尾東町分館
整備方針	○ 図書館分館は他地域にないことや利用率の状況から、八尾図書館への集約化を行う。
配慮すべきこと	

(2) 老朽化した行政サービスセンターの複合化

対象施設	八尾行政サービスセンター、八尾コミュニティセンターまたは八尾健康福祉総合センター
整備方針	○ 施設の老朽化が著しいことから、八尾行政サービスセンターと周辺施設との複合化を行う。 ○ 複合化は、八尾行政サービスセンターの機能を他施設に移転・複合化することとし、その内容については別紙再配置案を基に検討する。
配慮すべきこと	

(3) 低利用施設の活性化及び縮減

対象施設	八尾コミュニティセンター分館・杉風荘、八尾化石資料館、八尾美術保存館、ほたるの里農村公園
整備方針	○ 杉風荘は、施設の利用促進による地域活性化のため、地元や民間への売却や譲渡を行う。 ○ 八尾化石資料館、八尾美術保存館は、施設は廃止するが、収蔵作品や展示資料をより人の集まる施設（科学博物館等）に移設し展示を行う。 ○ ほたるの里農村公園は、地元や民間への売却や譲渡、または廃止する。
配慮すべきこと	